

郷土を知る
むかしむかし

昔々の そお市

第62回



～新規の市指定文化財の紹介～

生涯学習課 文化財係 ☎ 0986-76-8873

4

月10日付けで、新たに4件の文化財が市指定となりました。いずれも曾於市の歴史を語るうえで貴重な文化財です。これで市指定文化財は95件となります。

◎太田神社の面（工芸品）

大隅町月野の太田神社に伝わり、神舞面8面（鬼神面4・尉面2・女面2）、王面（奉納された面）3面の計11面からなります。

神舞面は江戸中期頃、王面は江戸初期頃の作とされ、当地域の仮面文化の成立や変遷を考えるうえでも非常に貴重な文化財です。



出目如見作の尉面
(太田神社の面の一つ)

◎投谷八幡宮の棟札・妻板（歴史資料）

戦国期から江戸末期までの棟札13枚と妻板1枚。令和4年6月の火災で本殿などは焼失しましたが、棟札・妻板は大隅郷土館で展示保管していたため無事でした。

これらには各建造物の造立年月日や、当時の造営主、勸進者、大工、僧侶、神職など様々な情報が記載されており、

恒吉の当時の状況を把握するうえで貴重な資料です。



投谷八幡宮の棟札
(13枚のうちの7枚)

◎磯集成館製の蒸気機関（歴史資料）

鹿児島島の磯集成館で造られた蒸気機関。大正6年（一九一七）、集成館から岩川醸造に払い下げられ、昭和30年代半ばまで使用。昭和61年から大隅郷土館に寄託・展示されています。

旧集成館機械工場で造られた蒸気機関で、国内の機械技術の変遷を考えるうえでも貴重な資料です。



磯集成館製の蒸気機関

◎太田尾の岩川海軍航空隊基地地下発電所跡（史跡）

戦時中、大隅町月野太田尾の地下約10㍎に設けられた発電所跡。本体はコンクリート造で、幅約4㍎、長さ約20㍎、

高さ約4㍎、壁の厚さは約1.4㍎と頑丈です。昭和20年5月頃から岩川海軍航空隊（芙蓉部隊）の施設として使用され、北へ約350㍎離れた基地通信壕（志布志市）へ送電していました。現在は所有者の意向で、平和学習の場として公開しており、戦争の記憶を後世に伝える貴重な遺跡です。



地下発電所跡

お知らせ



市制施行25周年（令和12年）の刊行を目指して曾於市史の編纂を始めます。市民の皆さまからの情報提供お待ちしております。

アクセス



各文化財の見学については、ホームページをご覧ください。